

Q&A

一般質問



しのはら こういち
篠原 光一議員

無所属



質問の様子は
こちら！

学校再編に向けて 説明会の開催を

Q 再編新校の建設基本計画策定に当たっては保護者等の意見を聞く説明会の開催が必要である。また小・中学生が同じ空間で生活することに対する配慮をどのように考えているのか伺う。

A これまでのインターネット等を通じたアンケート調査やワークショップにて頂いた具体的なご意見等を踏まえ、今後、建設基本計画をまとめます。その後、地元説明会の開催等によりご意見を頂く機会を設けます。

再編新校においては異なる年齢層の児童・生徒が学ぶため、教室や共有スペースの活用、小学生用の遊具の設置、教室の配置等、互いの学習活動に支障を来すことがないよう、様々な配慮も含め総合的に検討していきます。

(教育長)

第2層協議体の進捗状況は

Q 自治体が軸となって財政面を含めた支援を行うことで第2層協議体も機能するのではないかと進捗状況も含めて伺う。

A 現在、生活支援体制整備事業の実施に伴うコーディネート業務を坂出市社会福祉協議会へ委託しており、第2層協議体における円滑かつ継続的な話し合いを実施しています。豊かな地域づくりには「住民主体」が不可欠であり、自治体は側面的に支えることが重要です。

本市では、活動が活発な協議体においては課題を抽出し助け合い活動に繋げた地区もありますが、これから始める地区もあります。市としても関係者と連携しながらそれぞれの協議体の地域づくり活動を支援していきます。

(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・ 地域活性化について
- ・ 駅前複合施設について など



さんじょう まさつぐ
山条 真嗣議員

自民党市政会



質問の様子は
こちら！

みどりの食料システム戦略 に対する市長の認識は

Q 世界が大きく有機農業に方向転換しようとしている。市長の認識と市民・企業への号令について伺う。

A 有機農業には収穫量の問題や一般の農作物に比べて高価格であることへの消費者の理解等の課題があります。有機農法により地場で生産し、学校給食で活用する等の機会によりこのような農産物を身近に感じ、理解を醸成していきます。さらに市が旗振り役となり、生産者、流通・加工業者等の関係機関とも連携しながら課題克服と環境にやさしい農業の推進を図ります。

(市長)

農福連携の推進を

Q 障がい者等の就労機会の確保、農業の担い手不足といった課題解決に農福連携が有効であると考える。市の見解は。

A 農福連携の推進は農業を行うだけでなく、農作物の販路や流通の確保による弁当販売やカフェの運営など、雇用の機会の拡充にもつながります。

一方で、障がい者の適性に応じた業務を行えるように調整することだけでなく、受入側における理解啓発や支援する人材を確保する必要もあります。

農福連携については障がい者雇用と農業生産の拡充につながるよう、他市町などの動向を参考に研究していきます。

(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・ 認知症患者の行方不明について

